

平成26年度第4回<sup>もり</sup>森林の未来を考える懇談会資料

## 緑化活動に関するアンケートの 実施結果について

- 1 調査の目的
- 2 実施の概要
- 3 調査の項目
- 4 実施結果
- 5 まとめ
- 6 今後の課題

平成27年3月24日

福島県農林水産部森林保全課



# 緑化活動に関するアンケートの実施結果について

## 1 調査の目的

県内各市町村の小学校の先生や保護者に対し、児童の緑化活動に関する意見を把握し、緑化活動等の取組の参考とするため、アンケート調査を実施した。

## 2 実施の概要

- (1) 調査対象：県内に所在する小学校の先生及び生徒の保護者
- (2) 調査時期：平成 27 年 1 月 8 日～平成 27 年 2 月 6 日
- (3) 総回収数=4,372 件
  - 《内訳》①学校の先生=1,791 件、無効数=0 件
  - ②保護者=2,581 件、無効数=0 件

## 3 調査の項目

### <森林とふれあう体験>

- (1) 児童に森林とふれあう体験をさせたことがあるか
- (2) 体験の内容

### <緑の少年団について>

- (先生からの回答)
- (3) 「緑の少年団」の有無
  - (4) 「緑の少年団」の結成意向
  - (5) 「緑の少年団」に参加させたい理由
  - (6) 「緑の少年団」に参加させたくない理由

### (保護者からの回答)

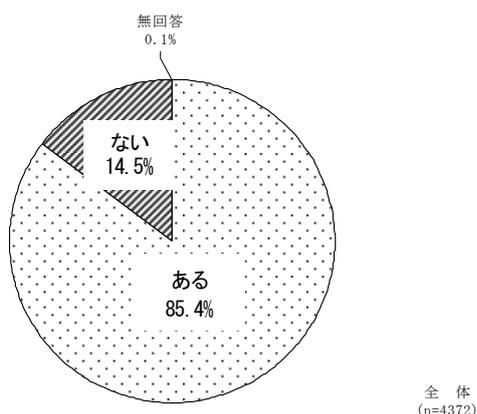
- (7) 「緑の少年団」の有無
- (8) 「緑の少年団」への参加意向
- (9) 「緑の少年団」に参加させたい理由
- (10) 「緑の少年団」に参加させたくない理由

### <今後の緑化活動について>

- (11) 今後体験させたい緑化活動

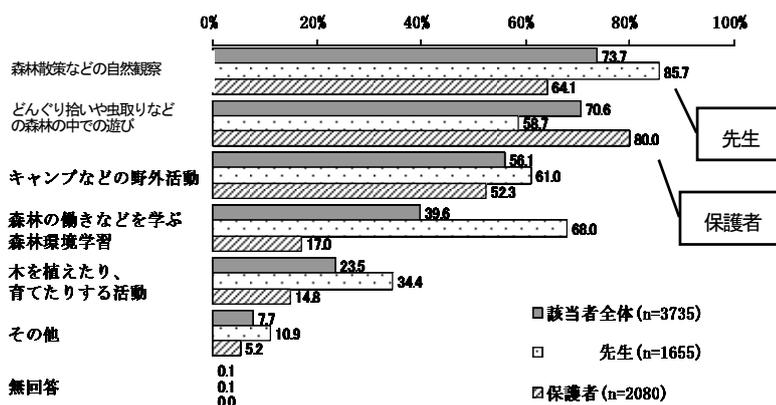
## 4 実施結果

- (1) 児童に森林とふれあう体験をさせたことがあるか



児童が森林にふれあう体験をさせたことが「ある」が大多数を占める。

- (2) 体験の内容(複数回答)

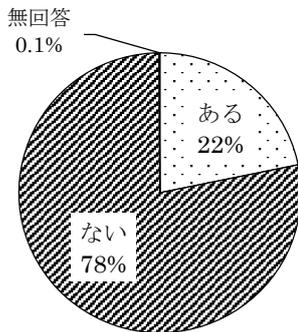


先生では「森林散策などの自然観察」の割合が、保護者では「どんぐり拾いや虫取りなどの森林の中の遊び」の割合が最も高い。

<緑の少年団について>

(先生からの回答)

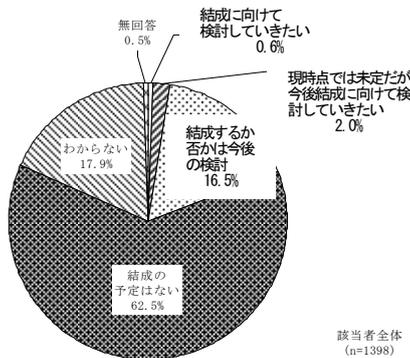
(3) アンケート対象者の学校における「緑の少年団」の有無



先生(n=1791)

(参考)  
県内 469 校中 110 団

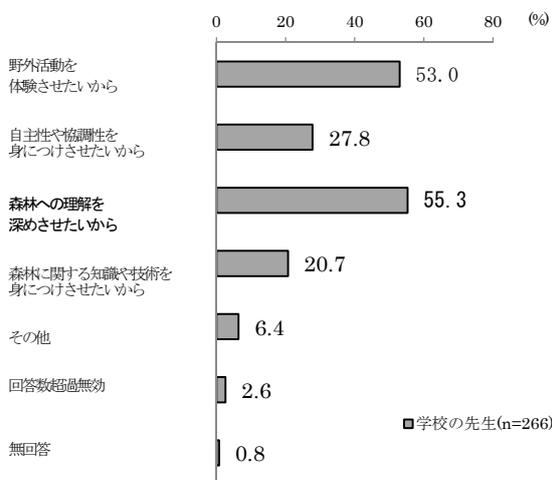
(4) (3)で「ない」と回答した学校において「緑の少年団」を結成したい意向はあるか



該当者全体  
(n=1398)

先生では、「結成に向けて検討していきたい」、「現時点では未定だが今後結成に向けて検討していきたい」、「結成するか否かは今後の検討」が合わせて約2割を占めている。

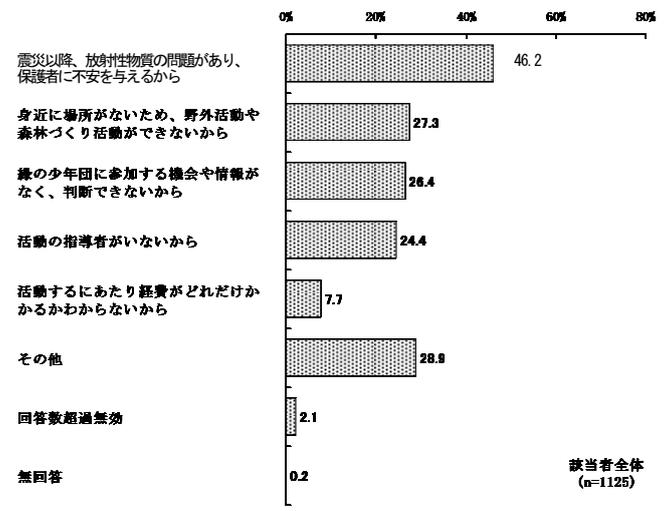
(5) 「緑の少年団」に参加させたい理由



学校の先生(n=266)

先生では「森林への理解を深めさせたいから」との回答が最も多くなっている。

(6) 「緑の少年団」に参加させたくない理由

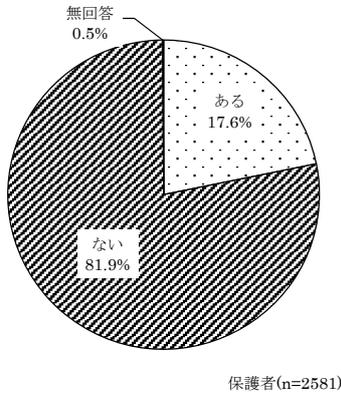


該当者全体  
(n=1125)

先生では「震災以降、放射性物質の問題があり、保護者に不安を与えるから」が最も多くあげられ、5割弱となっている。

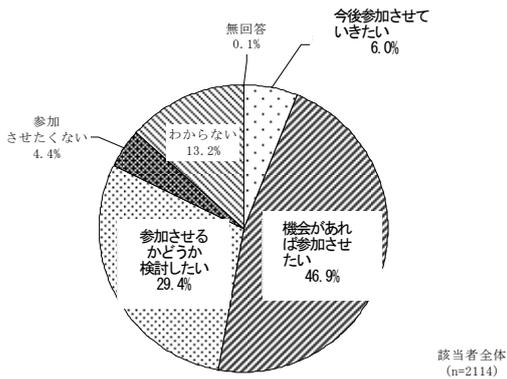
(保護者からの回答)

(7) アンケート対象者の学校における「緑の少年団」の有無



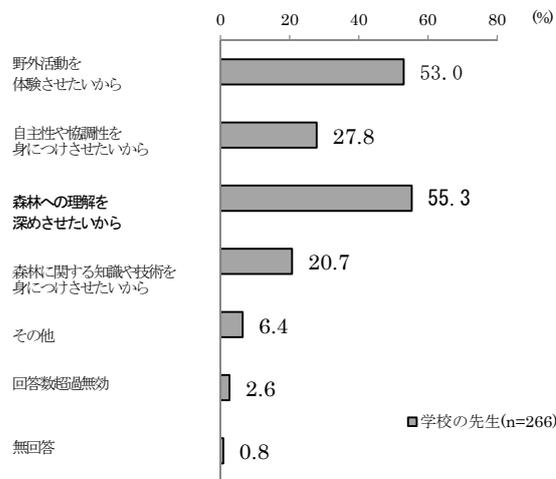
(参考)  
県内 469 校中 110 団

(8) (7)で「ない」と回答した保護者において「緑の少年団」へ参加したい意向はあるか



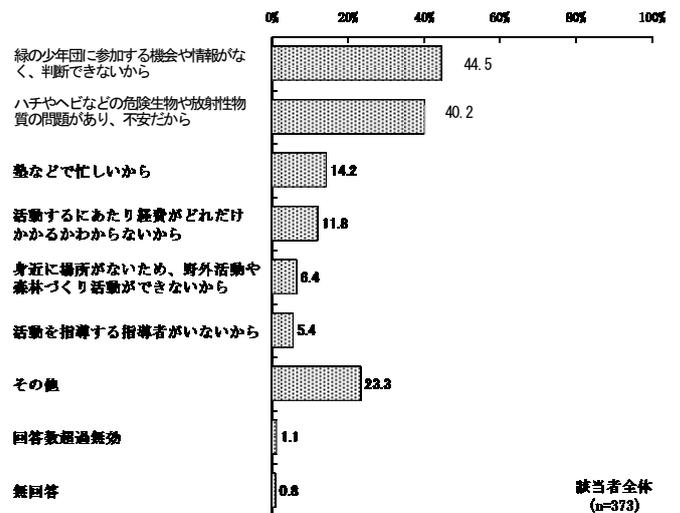
保護者では、「今後参加させていきたい」、「機会があれば参加させたい」、「参加させるかどうか検討したい」合わせて82%を占めている。

(9) 「緑の少年団」に参加させたい理由



先生では「森林への理解を深めさせたいから」との回答が最も多くなっている。

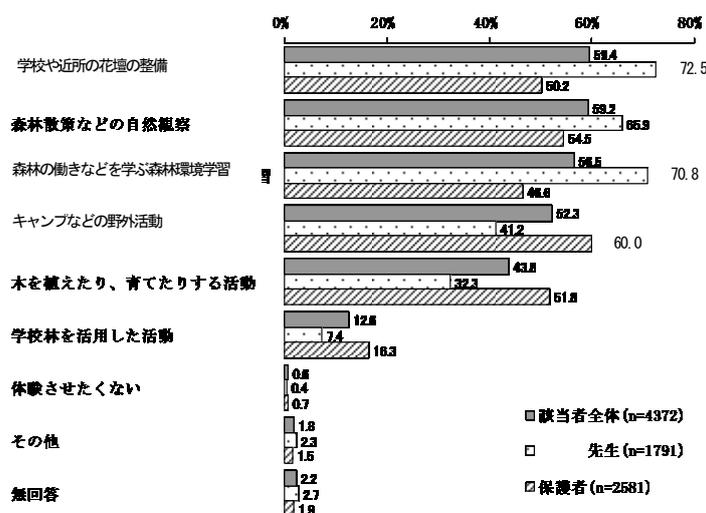
(10) 「緑の少年団」に参加させたくない理由



保護者では「緑の少年団に参加する機会や情報がなく、判断できないから」が最も多くあげられ、「ハチやヘビなどの危険生物や放射性物質の問題があり、不安だから」がこれに続く。

## <今後の緑化活動について>

### (11) 今後体験させたい緑化活動（複数回答）



先生では「学校や近所の花壇の整備」「森林の働きなどを学ぶ森林環境学習」をあげる割合が高く、7割を超えている。保護者では「キャンプなどの野外活動」の割合が高い。

## 5 まとめ

(1) 「自然観察」や「森林の中での遊び」など8割以上が児童に森林にふれあう体験をさせており、今後体験させたい緑化活動として、「学校や近所の花壇の整備」、「自然観察」、「森林環境学習」、「キャンプ」などが多かったことから、先生、保護者とも緑化に対する意識は高いことがわかった。

(2) 「緑の少年団」に関する先生からの回答は、「結成に向けて検討していきたい」、「現時点では未定だが今後結成に向けて検討していきたい」、「結成するか否かは今後の検討」は2割と少なかった。一方で「結成の予定がない」が6割以上であった。

その理由は、「震災以降、放射性物質の問題があり、保護者に不安を与えるから」が最も多かった。

(3) 保護者からの回答は、「今後参加させていきたい」、「機会があれば参加させたい」が5割、「参加させるかどうか検討したい」を含めると8割を超えており、緑の少年団活動への参加意識が高い。

ただし、保護者の中で、参加させたくないと回答した理由としては「緑の少年団に参加する機会や情報がなく、判断できないから」の割合が最も多く、次に「ハチやヘビなどの危険生物や放射性物質の問題があり、不安だから」という回答結果となった。

## 6 今後の課題

今回のアンケートから以下の課題が抽出された。

(1) 先生に対しては、緑化の意識は高いが、「緑の少年団」の結成意向が低いことから、今回のアンケート結果を先生に送付し保護者は緑化活動に高い関心を示していることを伝えるとともに、先生の負担を少なくするため「もりの案内人」の派遣などの活動支援の情報を発信する必要がある。

(2) 保護者に対しては、緑化の意識や「緑の少年団」への参加意識が高いことから、森林とふれあう活動への参加機会を増やすため、交流会の開催や「緑の少年団」活動、緑化活動に関する情報の発信を行う必要がある。

(3) また、先生、保護者に共通した課題として、安心して子どもに活動してもらおうことができるよう、活動フィールドの除染や放射線量などや野外における危険生物に対する注意点などの情報を発信する必要がある。